

若年女性の健康課題の見える化と対策 ～ 中学・高校生から大学生、そして社会人への支援 ～

開催日時:2024年12月13日(金) 13:30～15:30

開催方法:オンライン(Microsoft Teams)

フェムテックは、女性の健康と幸福をサポートするための新しい分野です。本研究会では、国内外で発展途上にあるフェムテックの最新動向や成功事例、地域企業での女性活躍と健康に向けた取り組みについて紹介し、北陸地域の持続可能な成長とイノベーション創出に向け、男女平等が推進され、女性が活躍しやすく、明るく希望に満ちた社会(働く・学ぶ・住む)を実現するためのビジョンを共有します。

中学・高校生、大学生、そして卒業直後の若い女性が直面する健康課題を明らかにし、これらの課題に対するフェムケア・フェムテックでの対策について議論します。教育機関や産業界の連携による実践的な解決策を探り、フェムケアの重要性とその技術革新を若年層に伝える機会を提供します。

【今回は、4回シリーズの第3回目。第4回(最終回・2/28開催予定)は内容が確定次第ご案内します。】

プログラム

13:30～14:30

講演

演題:「キャズムを超えるフェムテック—保健室 BOX から始まる未来のヘルスケア」

※“キャズム”とは、新商品や新しいサービスを顧客に浸透させる際に生じる、大きな障壁や壁。

講師:fermata 株式会社 代表取締役 CEO 杉本 亜美奈 氏

概要:全国の高校で展開を予定している「保健室 BOX」の取り組みを紹介します。思春期から社会人になるまでに直面する健康課題(生理不順、メンタルヘルス、避妊、性教育など)に対し、今まで顕在化されてこなかったヘルスケアニーズを可視化するフェムテック製品やサービスがどのように役立ち、学校・家庭・職場での支援策と連携しながら解決策を提供するかを解説します。国内外で急成長するフェムテック市場の可能性にも触れ、キャズムを超えた次の新市場への道筋を描き、フェムテックが切り開く未来をお伝えします。

演題:「教育現場である大学においてフェムテックはどのような役割を果たすか」

講師:金沢大学総務部人事労務課ダイバーシティ推進担当専門業務職員 菊澤 彩子 氏

講師:金沢大学 融合学域先導学類 4年、ユースの保健室代表 小田波 優矢 氏

概要:金沢大学ダイバーシティ推進機構は、令和5年度「フェムテック等サポートサービス実証事業補助金」に国立大学法人として初めて採択され、フェムテック情報ステーションとしての「思考するトイレ」を中心とした「ふむふむフェムテック」プロジェクトを実施した。プロジェクトの概要や学内外の反響、今後の課題などを説明するとともに、当プロジェクトにも参画した学生主体の任意団体「ユースの保健室」の取組についても紹介します。

14:30～15:30

パネルディスカッション

「若い女性の未来の健康をデザインするために今できること

～学域におけるフェムテックの可能性～

モデレーター

事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

パネリスト

fermata 株式会社 代表取締役 CEO 杉本 亜美奈 氏

金沢大学 総務部人事労務課 ダイバーシティ推進担当 専門業務職員 菊澤 彩子 氏

金沢大学 融合学域先導学類 4年、ユースの保健室代表 小田波 優矢 氏

芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

【お申込み・お問い合わせ事務局】

一般財団法人北陸産業活性化センター TEL: 076-264-3001

参加申込フォーム: <https://forms.office.com/r/uhPEsWQBTZ?origin=lprLink>

※12月10日(火)までに、参加申込フォームよりお申し込みください。

主催:一般財団法人北陸産業活性化センター

後援:とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会、

一般社団法人日本フェムテック協会、北陸経済連合会

協力:中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



講師紹介

パネルディスカッション モデレーター

事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

略歴: ヘルスケアビジネスとヘルスプロモーションのプロジェクトデザインの専門家として、企業案件と自治体事業と学術 研究の 3 領域で指揮をとる。大塚グループ、電通グループ、マッキン・ワールドグループ(最高知識責任者)を経て、株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長、事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学サービス創造学部 特命教授、北海道科学大学薬学部 教授(非常勤)。

事業詳細 <https://www.healthcarebiz.jp/>

研究分野 <https://researchmap.jp/nishine>



パネルディスカッション パネリスト

fermata 株式会社 代表取締役 CEO 杉本 亜美奈 氏

略歴: 東京大学修士号、London School of Hygiene & Tropical Medicine (英) 公衆衛生博士号取得。東京電力福島原子力発電所事故調の委員として活動後、日本医療政策機構にて、世界認知症審議会の日本誘致を担当。厚生労働省のヤングプロフェッショナルメンバーにも選ばれ、「グローバル・ヘルスの体制強化:G7 伊勢志摩サミット・神戸保健大臣会合への提言書」の執筆に関わる。Mistletoe(株)への参画を経て、2019 年に fermata 株式会社を創業。



金沢大学 総務部人事労務課 ダイバーシティ推進担当 専門業務職員 菊澤 彩子 氏

略歴: 1984 年石川県七尾市生まれ。大学卒業後、大手損害保険会社にて 16 年半勤務。営業部門を中心に、営業企画、採用担当、自治体との連携対応など幅広い業務を経験する中で、誰もが自分らしく能力を發揮して働ける環境や組織作りに興味を持つ。金沢大学ダイバーシティ推進機構が目指す「本学すべての構成員が相互に属性・個性を尊重しあえる共生社会の実現へ」の理念に共感し、2024 年 5 月 1 日より同学の専門業務職員としてダイバーシティ推進業務に携わる。



金沢大学 融合学域先導学類 4 年、ユースの保健室代表 小田波 優矢 氏

略歴: 2001 年石川県金沢市生まれ。大学在学中に、交際女性の「生理の悩み」をきっかけにフェムテックやユースクリニックに関心を持ち、活動を始める。任意団体「ユースの保健室」を発足し、「若者に対する包括性教育」「SRHR によるセッションの提供」「若者が心身の相談をしやすい居場所ユースクリニック設立」「企業に向けた女性の健康問題に関するコンサルタント事業」など、幅広く事業を行う。同大教授と生理痛疑似体験機器を開発し、イベントも実施。I LADY. 2024 金沢ピアアクティビスト・ジェンカレなどユース×フェムテックの分野で活動を行う。



芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

略歴: 東京工業大学博士(学術)、富士通株式会社にて国内外の情報システムの構築、法政大学客員准教授・芝浦工業大学准教授・東北大学特任准教授として技術経営学の研究・教育、SCSK 株式会社社外取締役、日本学術会議連携会員、総務省情報通信審議会技術戦略委員会委員、21 世紀職業財団 IT 産業女性研究会主査 など。



東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

略歴: 医療現場のニーズからスタートする医療テクノロジー開発を提唱。東京大学でスタンフォード大学と連携した医療テクノロジーイノベーターの世界的コミュニティである“バイオデザイン”を運営。他に、医療テクノロジーインキュベーターのプレモパートナー株式会社の創業者取締役 CSO、医療・ヘルスケア領域に特化したベンチャーキャピタルの BD Fund 株式会社代表パートナー&CEO、医療 AI スタートアップのアイリスのディレクター、医療法人社団こずえ会会長、東京薬科大学特命教授、早稲田ビジネススクール講師。歯科医師・医学博士。

